

# いすぐみだよ



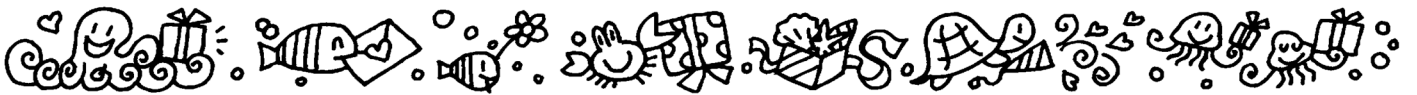
2019年度 8月号  
尚徳福祉会 生麦保育園

今年は梅雨のジメジメと蒸し暑い日と、梅雨冷えて寒く感じられる日もあり、体調管理の難しい夏へのスタートでした。汗流しのシャワーのあと、ビニールプールにお湯を入れて少し遊ぶと目をキラキラさせて喜んでいました。7月の後半にはプールに入れる日がようやく出てきて、水が顔にかかってもへっちゃんなりす組の子どもたちでした。これから夏本番、大いに水に触れて事故や怪我なく遊べるようにしていきたいと思います。



## うちわ制作

うちわ制作を行いました。今年はタコとクラゲを作り、うちわにしました。保育士が見本を作り保育室に飾ると「あ！タコー。赤いねえ」「これはクラゲ？」と興味を示してくれました。「作ってみる？」聞くと「うん！」と意欲が見られ、夢中で作っていました。タコは、色塗りのり付けのみですが、クラゲでは初の試みで絵の具とビー玉を使って模様を描きました。絵の具をつけたビー玉を転がして、画用紙に線が引かれていく様子に驚きの様子。友だちの取り組む姿に「〇〇ちゃんもやる！」「〇〇ちゃんは青使うんだ」と普段は制作に乗り気ではない子も進んで「やりたい」と取り組み、完成すると得意気に作品を見せにきてくれました。



## サツマイモを洗いました

食育の一環としてサツマイモ洗いを経験しました。芋ほりの絵本をみて、サツマイモのイメージができるようにし、「優しく洗う、置く」ということを子どもたちと約束をしました。サツマイモよりもタライに入った水に触れられることが楽しい子も数名いましたが、調理前の生の食材に触れることができました。自分たちが洗ったサツマイモが、おやつの大学芋として出てもまだまだ関連づかず、ピンとこない様子でしたが、機会があればいろいろな生の食材に触れていきたいです。

## トイレトレーニング

数名の子がトレーニングパンツを履いて日中や夕方を過ごすようになりました。パンツに描かれているキャラクターを見せ、「今日は〇〇のパンツにするんだ」と得意になってパンツを履いて過ごしています。遊びの途中でトイレに誘われても、中断できずに漏らしてしまうことがまだまだ多く、パンツが濡れていても気にせず遊ぶということもあります。パンツが濡れたことへの不快感を覚えることから始め、濡れた場合は伝える、尿意を感じたらトイレで排尿するということができるようにしたいです。また紙パンツの子については膀胱に尿を溜められるようになってからトイレで排尿ができるようにタイミングを見ながらトイレへ誘い、トイレで排尿する経験ができるようにしていきたいです。子どもたちがトイレを嫌にならないよう、ご家庭と協力し、長い目で見ながら進めていきたいと思っています。

